

東大雪 山のトイレ事情

河田 充 (NPOひがし大雪山自然ガイドセンター)

東大雪 山のトイレ事情

NPOひがし大雪自然ガイドセンター



春まで静かな眠りにつく石狩連峰

ニペソツ山

日本百名山に選ばれなかった
奇跡の山



ここにもあそこにもティッシュの花が



登山口に簡易トイレを設置



ニペソツ登山口 1997～ (2006に更新予定)

石狩岳登山口 2002～



携帯トイレブース設置 2003～



前天狗 標高1,880m

登山口に携帯トイレ配布ボックス と回収ボックスを設置



無料配布がいつまで続くか・・・当NPOの負担で配布中

ブヨ沼は秋に乾燥した紙類を回収



ニペソツ山杉沢登山口トイレについて

河田 充 (NPOひがし大雪自然ガイドセンター)

1. 杉沢出合登山口にトイレが設置された事情、設置開始年月を教えてください

設置 ; 1997 (平成9) 年7月

設置理由;

杉沢出合は登山口であり前泊する人が結構いて、また下山後に用を足す人もいたようである。これは、今に始まったことではないが、今までは登山者の絶対数が少なくて問題化していなかった。しかし、登山ブームとなりはじめた 1995(平成7)年頃から登山者が増え、仲間内では杉沢の臭いを何とかしなければと言う話が出ていた。

「町内に来る登山者の8割はニペソツだから、ここにトイレを作ればイメージアップは計り知れない！」と上士幌町役場に訴え、費用の面から簡易トイレならばということで、設置が決まった。モチベーションは植生破壊とか大腸菌とかでなく、単純に汚いからという理由である。

2. トイレ設置の所轄組織はどこですか

当初トイレ設置の所轄は、地元の上士幌町。環境庁(当時)や林野庁は、設置主体になってくれそうにもなかった。設置に当たっては、環境庁(当時)には公園設置申請、林野庁には土地貸付申請(交渉の末、無料)を役場から出した。

3. 設置されたトイレの概要内容と概算費用はどの程度でしょうか

工事現場に置くような簡易トイレ一基(中古)。小用・大用各1ヶ。購入費は、設置費込みで25万円。
(2006年度に更新予定 二基設置中古品・一基5.8万円・便槽容量450リットル)

4. 管理主体、管理の方法(清掃、メンテナンス等)、管理に要する年間費用、冬期間の処置はどうされていますか

管理主体は、上士幌町観光協会。管理方法は、私達ひがし大雪自然ガイドセンターが清掃受託、汲み取りは地元清掃会社が受託している。メンテは、不具合や汲み取りのタイミングなどを観光協会と連絡を取り合っている。

2002年度からは、石狩岳登山口トイレとの二箇所の管理となり、管理費は、清掃委託料5ヶ月間で18万円、汲み取り代が7.6万円×2回程度、合計予算年額約33万円。

冬はロープをかけてクローズ状態で移動はしない。開設期間は、6月末～11月上旬まで。

5. 管理主体の御苦勞話があれば教えてください

夏場に、シデムシが便槽に大発生し、気持ちが悪かったこと。ここ数年扉の不具合が頻発したこと。

6. その他、関連する事ならなんでもお気づきの点等あれば

簡易トイレ(汲み取り必要)であるので、今後利用者が急増すれば、汲み取り回数が増え、観光協会の予算がパンクする恐れがある。維持費用については環境省も協力して欲しいと思う。

あって当たり前のようなトイレだが、管理には地元が努力していることを知ってほしい。そうすれば、もっときれいに使ってもらえるのではと思う。

山のトイレを考える会ホームページ「ニペソツ山 杉沢出合トイレ設置報告」
《ヒアリング、作成、文責;山のトイレを考える会・会員:小枝正人 氏》に一部加筆